

んハートフルケアなかの

中野区介護サービス事業所連絡会 発行 会長 花堂 浩一

令和7年度 中野区介護サービス事業所連絡会の振り返りと展望



令和7年度は、2025年問題を目前に控え、介護業界にとって大きな転換期となる一年でした。介護報酬改定の影響、物価高騰、人材不足の深刻化など、経営環境は厳しさを増す一方で、地域包括ケアの実効性がより強く求められる状況となりました。

そのような中、本会は「顔の見える連携」を軸に、行政・区議会との意見交換を重ね、現場の声を丁寧に届けてまいりました。訪問介護の基本報酬問題、要介護認定の遅れ、ケアマネジャーの業務負担、生活保護受給者の住まいの課題など、具体的なテーマを共有し、対話を継続できたことは大きな前進です。

また、介護の日イベントでは延べ700名を超える来場者を迎え、区民の皆さまに介護の魅力や役割を伝える貴重な機会となりました。区長賞の授与式では、長年現場を支えてきた職員の皆さまを顕彰し、介護職の誇りを改めて社会に示す場ともなりました。

さらに、本年度は組織の在り方を見直す重要な一歩として、事業所連絡会および各部会の規約の整理・一本化に着手しました。これにより、より透明性の高い運営体制を整え、次世代へバトンを渡せる組織づくりを進めています。

一方で、地域包括ケアにおける最大の課題として浮き彫りになっているのが「高齢者の住まい」の問題です。在宅継続が困難となった際の受け皿不足、身寄りのない高齢者の増加、空き家活用の停滞など、住まいと介護は切り離せないテーマとなっています。介護事業者だけでは解決できない課題であり、不動産業界や地域団体との連携が不可欠です。

令和8年度に向けては、これまでの連携をさらに実効性あるものへと深化させ、「住まいと介護をつなぐ地域モデル」の構築を目指します。また、役割の循環による組織の若返りを進め、会員一人ひとりが主体的に参画できる連絡会へと進化していきます。

介護は業界の問題ではなく、地域全体の課題です。これからも中野区の介護を守り、支え、発展させるために、皆さまと共に歩んでまいります。

フクシを知ろう！なんでもセミナーの振り返り

東京都人材センターでは、都内の高等学校から「フクシを知ろう！なんでもセミナー」の講師依頼があると、地域の社会福祉協議会を通して、介護事業所に講師依頼をしています。

今回は大妻中野高等学校から上記のセミナー依頼があり、中野区介護サービス事業所連絡会では、介護保険の仕組みの説明から現場で介護に携わっている介護職員（ケアマネジャー、訪問介護の職員、老人福祉施設、保育の職員）が介護の内容とやりがい等について講演しました。



生徒さん達は熱心に聴講され、アンケート結果からは、セミナーを受けた後の感想では、福祉の仕事についてのイメージや考えなどの変化については「良い方向に変化した」が87.5%と高い数字でした。

また自由な意見として「介護と保育はとてもやりがいを感じられる仕事だということが分かりました」「福祉の仕事というのは大変でありながら人と人とのつながりをもった大切な仕事だと思った」など感想がありました。

介護人材が不足していくなか、若い学生たちに介護のやりがい、魅力の発信を続けていき、将来の担い手として、働きかけしていくことが重要な取り組みになってきます。

これからも中野区介護サービス事業所連絡会では、超高齢社会に向けて、介護人材確保のため活動を続けてまいります。



中野区介護サービス事業所連絡会 副会長 森 京子

中野区介護サービス事業所連絡会 次回総会について

2026年4月16日（木）中野区介護サービス事業所連絡会総会を中野区医師会館にて実施いたします。2026年度は、新たな規約の元、部会や職種を超えた横断的な交流の機会を作り、各部会活動の活発化と連携の強化を図って参ります。

また、新たに作成した動画を活用し、様々な場で区民へ介護の魅力を発信していきたいと思っております。総会では、中野区医師会のご協力により、基調講演と総会終了後に会場での情報交換の場を作っております。ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。

日時：2026年4月16日（木） 18時00分～20時30分

会場：中野区医師会館（中野区中野2-27-17）

内容：第1部 総会

第2部 基調講演 「（仮題）人生の最終章を考えるACPについて」

講師：中野区医師会 渡邊 雅貴 氏

第3部 情報交換

（事務局 中野社協 柴田・佐藤）

介護支援専門員部会

介護支援専門員部会は、地域における質の高いケアマネジメントの実践と向上を目的に研修会の開催、事例検討、制度研究などを通じて専門性の向上に努めています。

区民向けに介護保険制度や在宅生活に関する相談対応を行うなど、地域に開かれた活動を実施しています。防災訓練への参加や地域イベントへの協力を通じて、災害時における要配慮者支援体制の強化や地域包括ケアの推進にも取り組んでいます。

今後も行政・関係機関・地域住民との連携を深めながら、区民の皆さまが安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献してまいります。



通所介護部会

通所介護部会では、介護の入口ともいべき通所介護を利用される方の多様なニーズに応えられるよう、情報の共有や意見交換を行っています。毎月定例で行っている部会では、それぞれの事業所の特色を生かした多角的な視点で議論をしたり、共通の悩みや困りごとへの対処をみんなで話し合ったりしています。

11月の介護の日のイベントでは作品展を実施し、好評を博しました。今後も継続していきたいと思えます。

次年度は他の部会と連携を強めたり、研修の実施などを通じて活動の充実を図っていきたくと考えています。



介護老人福祉施設部会

介護老人福祉施設とは、介護保険制度が適用される特別養護老人ホームのことです。中野区内には現在、12施設あります。

介護老人福祉施設部会では、中野区内の特別養護老人ホームの施設長等がほぼ毎月のペースでオンラインや対面式で集まり、日々の施設運営等に関する情報交換や意見交換、研修会を実施して、施設間の交流を図っています。

また、「なかの特別養護老人ホームガイドブック」を作成し、事業所連絡会のホームページからダウンロードできますので、是非ご活用ください。



新規事業所紹介

事業所名：つかさ介護ヘルパー事業所

所在地：本町5-13-6 シャトレ中野新橋404

TEL：03-6382-5459 FAX：03-6382-5642 人員構成：8名

2024年2月、中野区本町に新たな介護事業所「つかさ介護ヘルパー事業所」が開設されました。10年以上の経験を持つベテランスタッフが在籍し、「私たちは豊かな高齢社会の創造に貢献します！！」をキャッチフレーズに掲げ、安心・安全・高品質なサービスの提供を追求しています。

ご利用者様はもちろん、ご家族の皆様にも心からご満足いただけるサービスを目指し、同事業所では次の5つを柱として、日々、介護職員の職場環境改善とサービス向上に取り組んでいます。

- ① 入職促進に向けた取組
- ② 資質の向上やキャリアアップに向けた支援
- ③ 両立支援・多様な働き方の推進
- ④ 腰痛を含む心身の健康管理および生産性向上のための業務改善の取組
- ⑤ やりがい・働きがいの醸成

今後も地域に根ざした事業所として、信頼される存在であり続けられるよう努めてまいります。
(取材：岩根)

事業所名：ソレイユ訪問看護ステーション中野

所在地：丸山2-5-16 内山ビル1階

TEL：03-5942-5675 FAX：03-5942-5676

人員構成：看護師 常勤8名 非常勤1名

ソレイユ訪問看護ステーション中野は、中野区を拠点に精神科に特化した訪問看護を行い、地域で暮らす方々の“ところに日差しを届ける”支援を大切にしています。

中野・練馬・板橋の全域と、杉並・豊島・新宿の一部エリアに訪問しています。

板橋にはサテライトも設置し、主治医や関係機関と連携しながら、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう寄り添ったケアを提供されています。

(取材：関本)



編集委員：白岩 裕子・岩根 誠・小畑 理恵子・佐藤 英郎・関本 貞治・奈良 亜香希・野澤 光太郎・松永 謙一・毛利 裕香（広報チーム）

「ハートフルケアなかの」は、中野区介護サービス事業所連絡会ホームページからダウンロードできます。職員、利用者様にも配布してご活用ください。

(<http://www.nakano-kaigo.org/>)

事務局：中野区社会福祉協議会 経営管理課内 担当 柴田・佐藤

〒164-0001 中野区中野5-68-7 スマイルなかの4階（日・祝・第3月休）

電話：5380-0751 FAX：5380-0750